

### OUTPUT ジャック (背面)

モノラルの出力端子。ミキサーのインサートやアンプのセンド・リターン等のライン信号レベルにも対応しています。出力レベルは 100 Ω のロー・インピーダンスです。

### OUTPUT コントロール

出力レベルを調節します。

### Boost フットスイッチ

ブーストのオン/オフを切り替えます。ブーストをオンにすると、LED が点灯します。このブースト機能はエフェクトがオンの時のみ動作します。

この度は DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。

## 株式会社 オールアクセス

本社：愛知県あま市本郷三反地 2-1 番地  
東京オフィス：東京都渋谷区桜丘町 30-4 渋谷アジアマンション 404

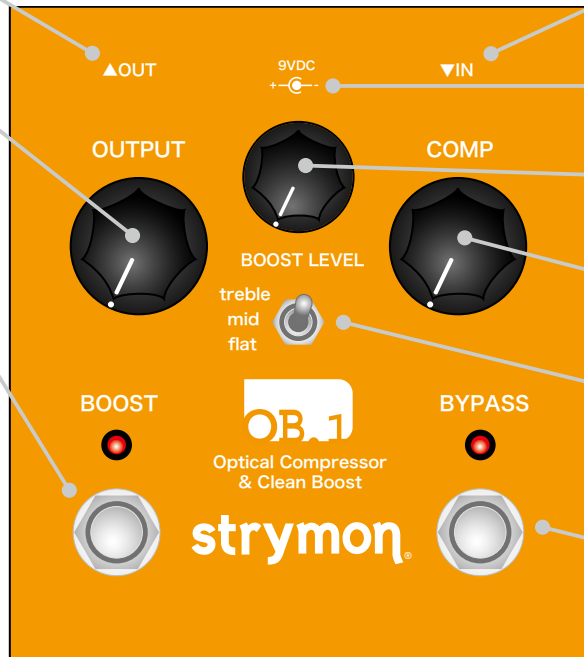
WEB [www.allaccess.co.jp](http://www.allaccess.co.jp)

E-mail : [pedal@allaccess.co.jp](mailto:pedal@allaccess.co.jp)

# strymon

a division of DAMAGE CONTROL, LLC.

## OB.1 - USER MANUAL



### INPUT ジャック (背面)

モノラルの楽器レベルおよびライン・レベルの信号を入力します。入力レベルは 1M Ω のハイ・インピーダンスです。

### 9VDC ジャック (背面)

パワーサプライからの電源入力端子です。  
本機は、DC9V センターマイナスを推奨しておりますが、DC12V まで対応することができます。  
006P 乾電池をご使用の場合は、裏蓋を外して取付けて下さい。

### BOOST LEVEL コントロール

BOOST フットスイッチをオンにした時、ブーストされるゲイン・レベルを調節します。

### COMP コントロール

コンプレッションの深さを調節します。

### BOOST 帯域選択スイッチ

BOOST スイッチをオンにした時、ブーストされる帯域を treble / mid / flat から選択します。

### BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオン/オフを切り替えます。エフェクトをオンにすると、LED が点灯します。トゥルー・バイパス仕様です。

## 内部 DIP スイッチ

本体内部の基板には2種類のDIPスイッチがあり、ブースト時の音色を微調整することができます。

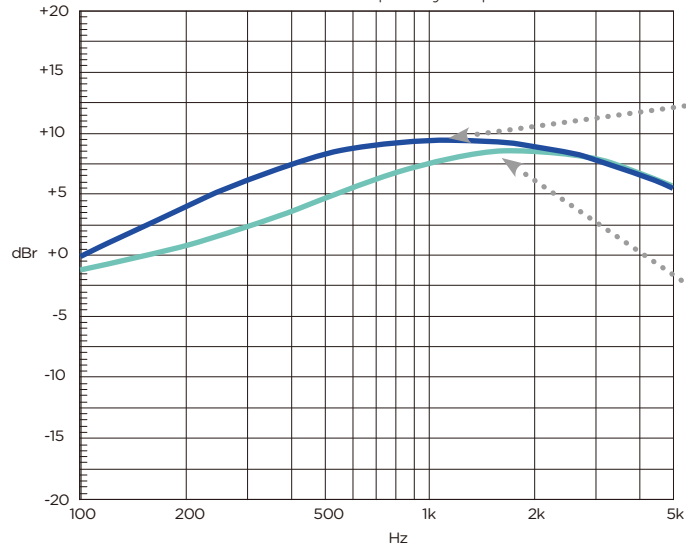


### スイッチ1【高域】

上側にすると、ブーストする周波数が低くなります。

下側にすると、ブーストする周波数が高くなります。

treble boost frequency response

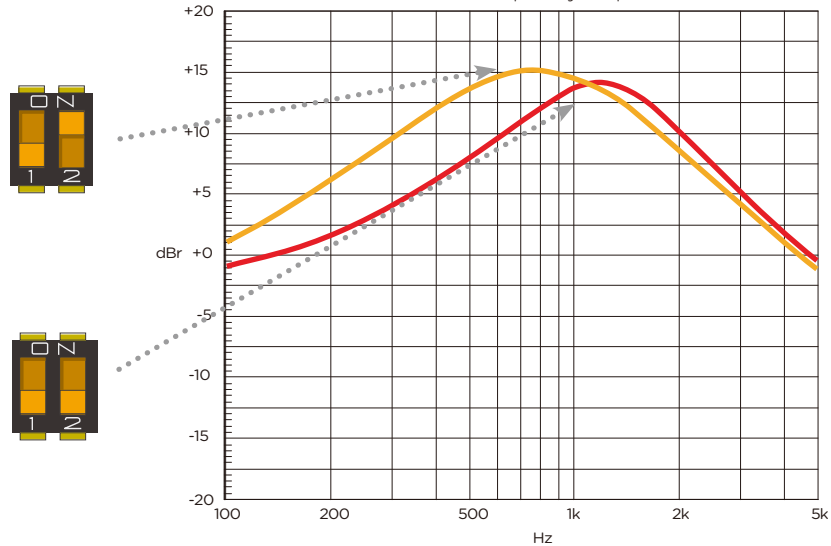


### スイッチ2【中域】

上側にすると、ブーストする周波数が低くなります。

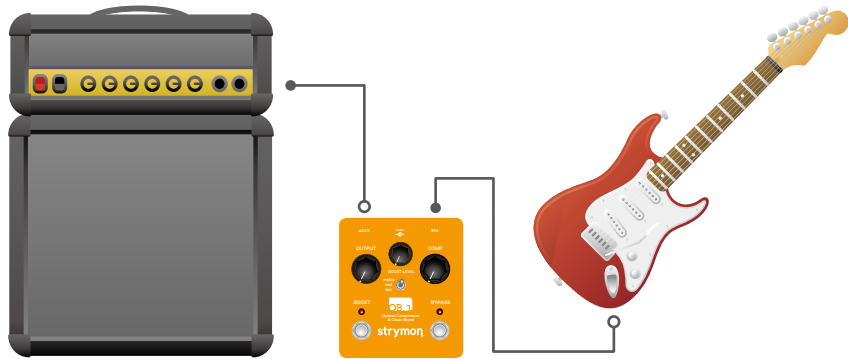
下側にすると、ブーストする周波数が高くなります。

mid boost frequency response



## セッティング例 ①

ギターのアウトプットから OB.1 を経由してギターアンプを接続した場合です。最も一般的な接続例で、音の粒と揃えたり、ブースト機能を活かしたセッティングです。

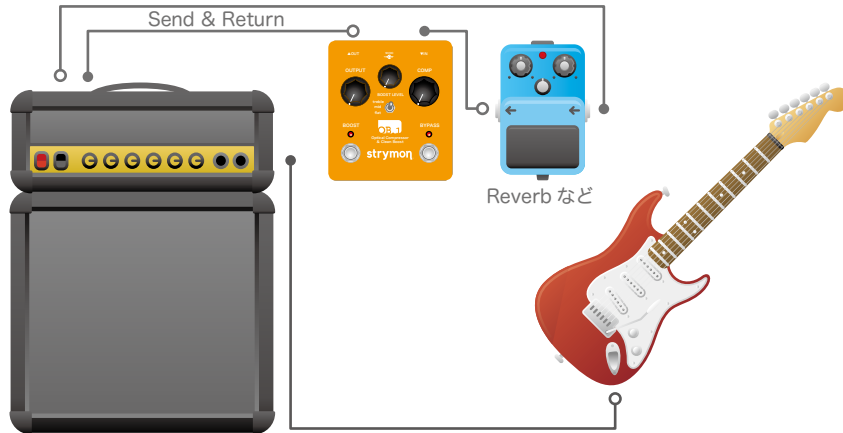


## スペシフィケーション

入力インピーダンス	1M $\Omega$	Flat ブーストゲイン	+14dB
出力インピーダンス	100 $\Omega$	Mid ブーストゲイン	+27dB (peak)
コンプレッションレシオ	2.5:1	Treble ブーストゲイン	+14dB
消費電流	13mA		
ゲイン利得	20dB		
最大レベル	+10dBu (1% THD レベルコントロール：ユニティーゲイン設定時 9VDC 使用)		

## セッティング例 ②

ギターアンプのエフェクトループに OB.1 を配置するセッティングです。リバーブなどのエフェクターの後にコンプレッションを掛けてやることで、より効果的なエフェクトを生み出します。



## セッティング例 ③

OB.1 の入出力は、ライン信号レベルにも対応していますので、ミキサーのインサートに OB.1 をセッティングすることも可能です。

